

東北地方 1か月予報

(10月6日から11月5日までの天候見通し)

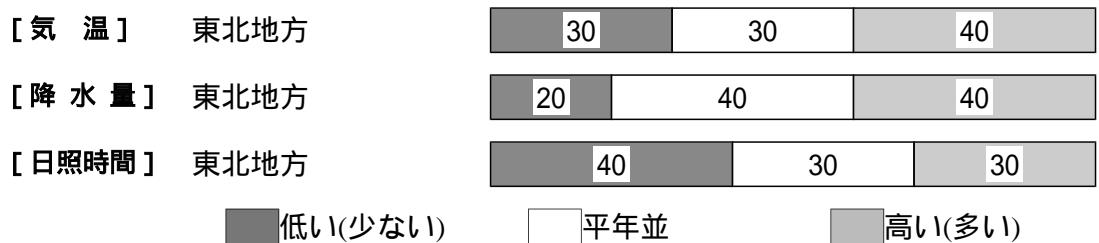
平成19年10月5日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

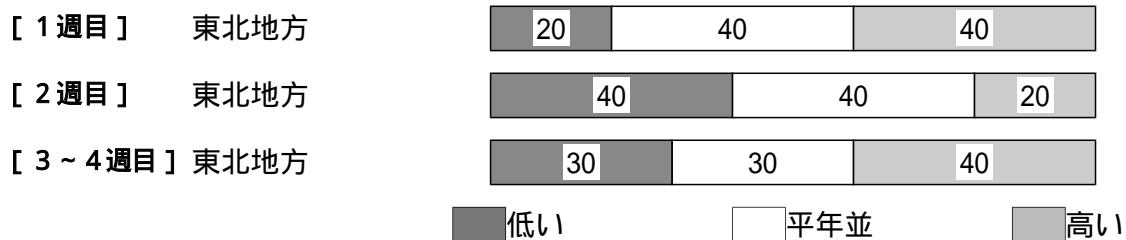
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。気温の変動が大きい見込みです。東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月 6日(土) ~ 11月 5日(月)
1週目 : 10月 6日(土) ~ 10月 12日(金)
2週目 : 10月 13日(土) ~ 10月 19日(金)
3~4週目 : 10月 20日(土) ~ 11月 2日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月12日
3か月予報：10月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	11.6	112.1	145.9	13.9	12.5	10.5
深浦	12.4	160.8	127.3	14.6	13.3	11.3
むつ	11.2	112.7	155.8	13.5	12.2	10.2
八戸	11.7	77.4	163.3	14.0	12.7	10.6
秋田	12.6	161.7	140.1	14.9	13.5	11.5
盛岡	10.7	98.9	146.9	13.2	11.7	9.5
大船渡	12.8	135.9	148.3	15.0	13.7	11.8
宮古	12.2	102.7	157.6	14.3	13.1	11.2
仙台	13.8	93.6	154.2	16.1	14.8	12.8
石巻	13.2	98.7	161.2	15.5	14.2	12.1
山形	12.1	76.0	130.0	14.6	13.2	11.0
新庄	11.2	161.3	99.8	13.8	12.3	10.1
酒田	13.7	178.9	135.6	15.9	14.6	12.7
福島	13.8	89.4	142.6	16.1	14.8	12.6
若松	12.1	73.8	118.0	14.8	13.2	10.8
白河	12.2	100.0	148.3	14.5	13.2	11.2
小名浜	15.2	140.7	159.8	17.3	16.1	14.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.4	82 ~ 110	96 ~ 105
東北日本海側	-0.6 ~ +0.4	89 ~ 108	96 ~ 104
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.4	67 ~ 119	97 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	-0.8 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年10月5日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月6日~11月5日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。気温の変動が大きい見込みです。東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(10月6日~10月12日) :

期間のはじめと終わりは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日がありますが、その他の日は高気圧におおわれて晴れる日があるでしょう。期間の中頃以降は、台風が日本に影響するおそれがあります。

なお、8日頃は気圧の谷の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(10月13日~10月19日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。気圧の谷や寒気の影響により、東北地方は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3~4週目(10月20日~11月2日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです

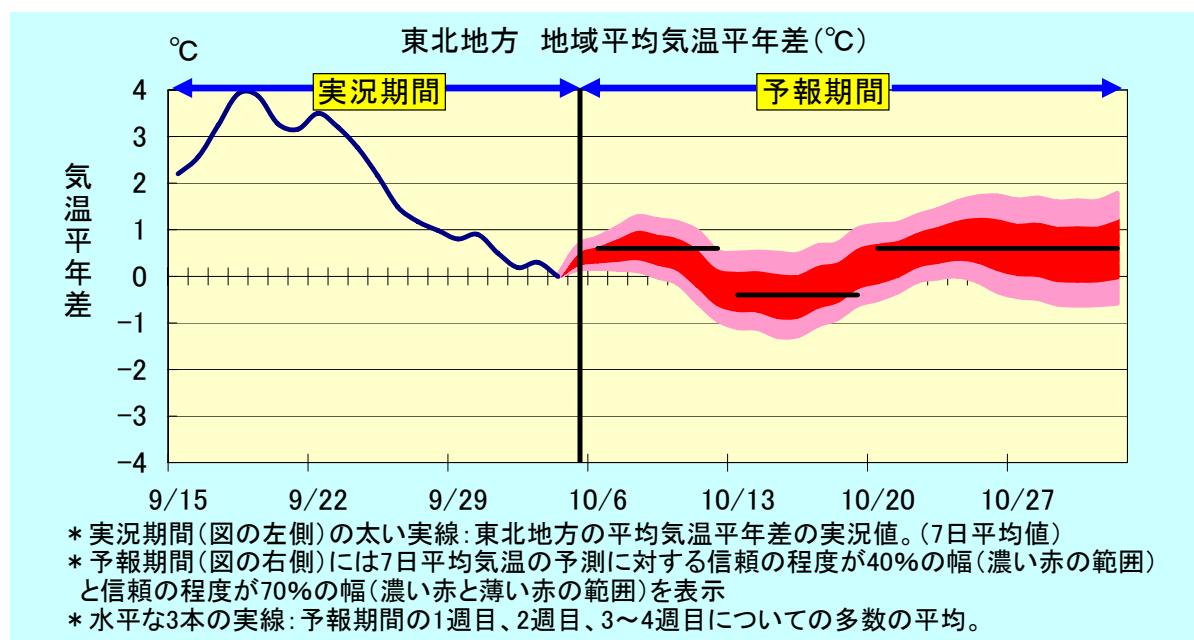
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	12.9日	3.4日	3.4日	6.1日
東北太平洋側	16.1日	3.7日	4.0日	8.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、3~4週目は平年を上回り、2週目は平年を下回る予想となっている。

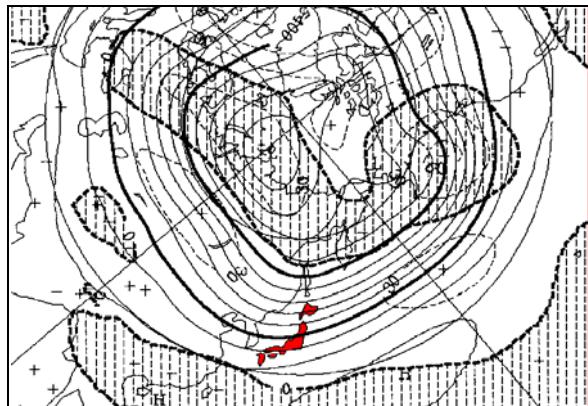


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東の中緯度域は広く正偏差におおわれる。日本付近は偏西風の蛇行は小さく、天気は周期的に変化する見込み。

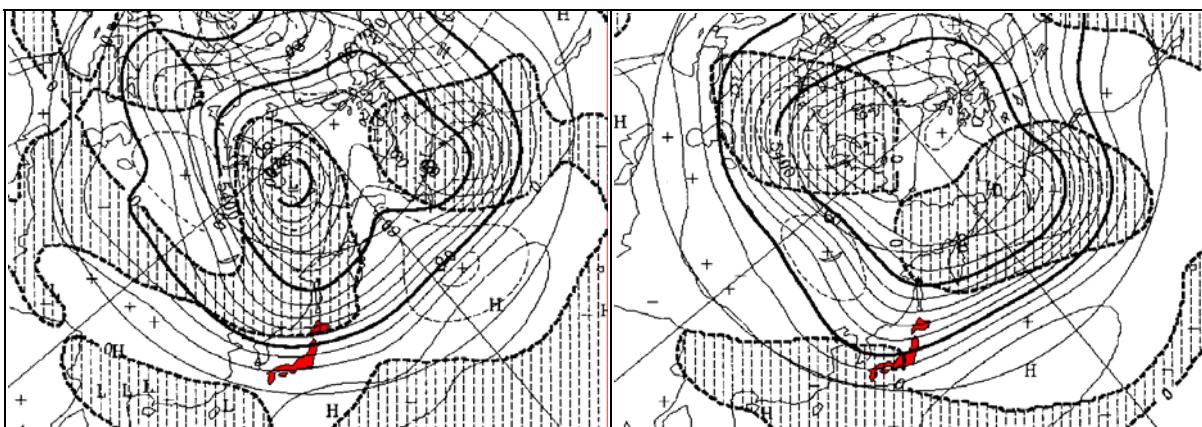
1週目: 日本付近は北海道をのぞいて正偏差におおわれ高温傾向。一方、極域からの負偏差が日本の北側に広がっており、一時的に寒気や気圧の谷の影響をうける見込み。

2週目: 東日本以北は正偏差。西日本以南は日本の南海上から中国大陸に広がる負偏差におおわれ、やや西谷傾向。日本付近は気圧の谷となっており、低気圧や寒気の影響を受けやすい。



1か月平均 500 hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

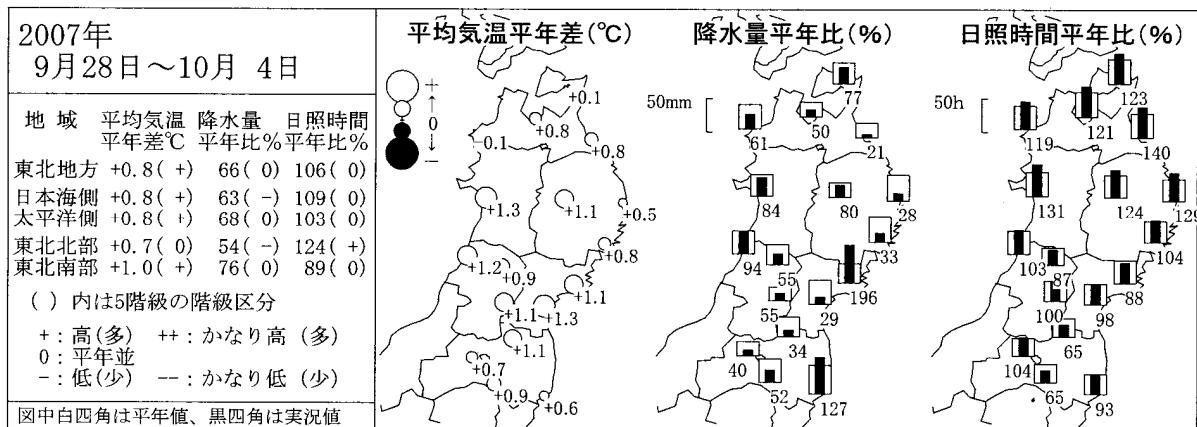
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (9月28日～10月4日) の天候の経過

この期間、東北北部では高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、東北南部では気圧の谷や前線の影響により曇りや雨の日が多くなった。9月28日には寒冷前線が東北地方を通過した影響により東北日本海側を中心に強い雨が降ったところがあった。また、10月4日夜には東北地方を低気圧が通過した影響により広い範囲で雨となり、短時間に激しい雨となったところもあった。このため、宮城県では浸水害が発生した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)